

FALプロジェクト概要



テーマ

三重県のショッピングリハビリ関連地域活動に協力し、日本の未来を考える（事業構想系）

連携先

ショッピングリハビリカンパニー株式会社（代表は尾添純一さん。承諾済み）

主な活動場所

ひかりサロン宝塚小林店（阪急今津線小林駅から徒歩5分のイズミヤ小林店内で初期研修）
『ショッピングリハ@イオン大安』（三重県いなべ市大安町＝2泊の合宿研修の予定先＝）

キーワード

リハビリの生活化、ウォーカブルな街作りのローカルな実践、臨床心理的インタビュー力

活動内容 概要

「10回のリハビリより1回のお買い物」これが、ショッピングリハビリのキャッチフレーズである。日本国内に17箇所ある「ひかりサロン（ショッピングセンター内にある、介護予防施設。利用者が「楽々カート」で買い物をしながらリハビリをしている）」のうち、尾添社長直営の都会店舗である「ひかりサロン宝塚小林店」でまず「ショッピングカートの可能性」を実感する。ついて、『ショッピングリハ@イオン大安』（予定研修先）において、周辺住民にとっての買い物の意味が、都会とは違うことを理解したうえで、ショッピングリハビリの理念がより高度に現実化するよう、地域住民の方にインタビューを行い、合宿中に発表会まで行う。檜田は臨床心理学会メンバーなので、能智2011『臨床心理学をまなぶ6質的研究法』の「インタビュー法」の章で、インタビュー技法を訓練する。また、国土交通省のHP掲載資料等をもとに「ウォーカブルな街作り」についても学ぶ。結果として、企業主導の事業構想ではない、地域住民が主体となった事業構想が可能であることを学ぶ。なお、合宿研修の日程については、2泊3日を前提に、プロジェクト参加者と相談しながら決定する。

活動の目的

これまでの「リハビリ」は、医学モデル的で、かつ、健常者中心主義的だった。リハビリそのものがつまらなくても、健常者に近い状態に回復すれば、そこから人生が再開するという考え方だった。しかし、高齢者の体は衰えていく方向なので、これでは、意欲は沸かない。ショッピングリハビリは、リハビリと生活の一体化を目指す。歩く補助具を、買い物をするためのカートで作ったのだ。生活と一体化したリハビリは、生活を変える。これまで、家の中だけにいた高齢者が、買い物をできるようになることで、家の中でのテレビの見方が変わる。テレビでの話題の商品を実際に行って、家族に自慢できるようになる。このショッピングリハビリをさらにバージョンアップする方向での「地域実践」が始まっている。三重県桑名駅から自動車1時間の「いなべ市」における「あじさいまごころ隊」の活動だ。この活動は、国土交通省の「ウォーカブルな街作り」構想とも連動している。その支援をしていく。

求める人材像

田舎での生活の多様性と豊かさの理解に意欲的な学生。
自由な発想力を持った学生

活動を通じて得られる知識・スキル・視点など

- ▶ <少子高齢化問題及び地方都市の交通弱者問題>を自分事として考えることができる。
- ▶ インタビュー力。大人に対しての本格的プレゼン能力。高齢者とのコミュニケーション力。
- ▶ 自分や学友の個性の多様性が、事業構想の多様性につながることを理解する能力。

FALプロジェクト概要



テーマ

まちの魅力を探してみよう!

連携先

松原市・松原市観光協会

主な活動場所

松原市内の公共施設、イベント等

*学外での活動に加え、学内での事前・事後学修を適宜実施します

キーワード

広報、シティプロモーション、SNS、ライティング、地域活性化、イベント企画

活動内容 概要

期間中を、大きく2部プログラムで構成

- ①実際にまちに繰り出して、地域の魅力を発見
- ②イベントを企画して、実際に実施してみる

活動の目的

- ・広報PRの基本である「見たもの、感じたものを編集し、文章でターゲットに届ける」を実体験を通じて理解を深める
- ・まちの現状を調査、理解し、必要な企画を考え、実行までの一連のプロセスを実体験を通じて理解を深める

求める人材像

- ・広報、プロモーション、SNS等に興味がある
- ・まちや地域活性化に興味がある

活動を通じて得られる知識・スキル・視点など

- ▶ **【全体】**目標を達成するための力、他者と協働するための力、市職員の働き方
- ▶ **【ブログ作成】**社会・文化的、技術的ツールを相互作用的に活用する能力、ライティング力、リサーチ力、構成力 等
- ▶ **【イベント企画】**新たな価値を創造する力、発想力、提案力、交渉力 等

FALプロジェクト概要



テーマ

都市型公園の利活用を考える

連携先

一般社団法人テラプロジェクト

主な活動場所

*学外での活動に加え、学内での事前・事後学修を適宜実施します

キーワード

都市型公園の未来像、みどりをPRするイベント作り、
コミュニティ作り、運営システムと組織作り

活動内容 概要

みなさんは普段公園を利用しますか？東京23区より緑被率が低く、みどりの少ない大阪。都市部の公園は、少ないみどりを感じられる貴重な場所です。
大阪市北区の扇町公園は、大都市梅田に近く天神橋筋商店街にも隣接する都市型公園です。海外からの観光客も含め、多様な人々が利用する扇町公園は、これまで以上にみどりの大切さ、素晴らしさをPRするための取り組みが求められています。
今年度は、扇町公園でフィールドワークを実施し、みなさんには「みどり(植・食)をPRする」イベントを「お祭り化」するための、ビジネスモデル作りに取り組んでもらいます。

活動の目的

- ・都市型公園が直面する課題を理解できる。
- ・イベントを考え実践することができる。

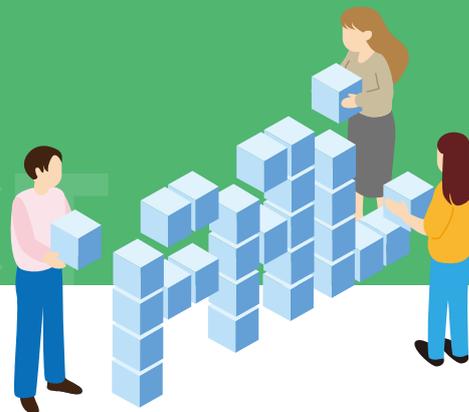
求める人材像

- ・みどりに興味がある方
- ・コミュニティ作りやイベント作りに興味がある方
- ・多様な課題に楽しみながら取り組める方

活動を通じて得られる知識・スキル・視点など

- ▶ 課題を理解し、調査(ヒアリングを含む)・分析し、アイデアの発散と整理を行い提案する力
- ▶ 他者と協力して、提案を実践する力

FALプロジェクト概要



テーマ

地域とつながる観光の現場を知る

連携先

悠ツアー(滋賀県知事登録旅行業第3-236号)

主な活動場所

滋賀県内各地、オンライン
*学外での活動に加え、学内での学修を適宜実施します。

キーワード

観光、まちづくり、インバウンド、オーバーツーリズム、地域振興

活動内容 概要

外国人向け着地型ツアー事業者に帯同し、ツアーの企画と準備、ツアー目的地の現地調査、地元住民との関係づくりなどの仕事に参加する。

活動の目的

訪問先の社会、環境、経済への影響を考慮し、地域の発展に資するツアービジネスのあり方を、現場での実践および事業者との議論をとおして学ぶ。

求める人材像

- ・外国人や地元住民など、人との交流が好きな人
- ・観光とまちづくりに興味のある人
- ・起業に興味のある人
- ・柔軟な発想のできる人

活動を通じて得られる知識・スキル・視点など

- ▶ インバウンド観光と地域の関係を様々な角度から見る力
- ▶ ビジネスにおける地域住民との関係づくりの意義と方法
- ▶ 地域振興に資する観光のあり方を考える力

FALプロジェクト概要



テーマ

街路をテーマとした梅田のまちづくりに参加する

連携先

(株)星田逸郎空間都市研究所 星田逸郎

主な活動場所

現地周辺(大阪市北区)、摂南大学内、関係企業(大阪市北区)
*学外での活動に加え、学内での学修を適宜実施します。

キーワード

エリアマネジメント、ウォークアブル、都市デザイン、まちづくり協議会

活動内容 概要

梅田地区のエリアマネジメント団体やまちづくり協議会が進める、梅田のまちづくりや議論の場に参加する。適宜、検討や作業も行う。

活動の目的

さまざまなアクターが協働して都市を活性化させる取組みの現場を知り、体験する。街路という公共空間は、都市のデザインにどう活用されうるのか。そのプロセスや現場を体験する。

求める人材像

街づくり、公園づくり、参加と協働、現場体感、住宅地デザインなどに興味ある人

活動を通じて得られる知識・スキル・視点など

- ▶ 都市空間づくりにおける民間協働の実際
- ▶ 現代の都市や地域のもつ課題に関する知識
- ▶ 都市のアクティビティについて街路の持つ可能性

FALプロジェクト概要



テーマ

四條畷市田原地域における「地域主体のまちづくり」

連携先

四條畷市役所、田原支所

主な活動場所

本学および四條畷市

*学外での活動に加え、学内での事前・事後学修を適宜実施します

キーワード

四條畷市、山間部ニュータウン、商業・交通、まちづくり

活動内容 概要

現在、四條畷市田原地域では「地域主体のまちづくり」をめざし、さまざまな取り組みを進めている。一方で市外住民、特に若者の視点があり反映できていないのも事実である。

これをふまえ、

- (1) 住民との対話を通じた現状の把握
- (2) 現状をふまえた課題解決方策の模索
- (3) 方策の実践とその効果検証をおこない、まちづくりの実現を図りたい。

活動の目的

- ・四條畷市田原地域の理解
- ・田原地域のまちづくり方策の考案
- ・まちづくり実践活動への参加

求める人材像

本件では、地域の色々なメンバーと対話をしながら、地域の魅力向上とその様子を広く人々に届けていく方法について探っていきます。我々としては広くコミュニケーションを取れる方、色々な催しに参加して交流をすることが好きな方、課題にじっくり取り組む姿勢のある方をお待ちしています(四條畷市を知らない方も大歓迎です!!!)。共に悩み、共に語り、共に活動していく仲間として力を合わせていきませんか？

活動を通じて得られる知識・スキル・視点など

- ▶ 地域問題についての理解
- ▶ コミュニケーション能力
- ▶ 発信力
- ▶ 問題発見力
- ▶ 応用・実践力

FALプロジェクト概要



テーマ

フィールドスタディ(FS)への参加を通じて 持続可能な地域づくりについて考える

連携先

飯田市役所、飯田市内企業、NPOなど

主な活動場所

長野県飯田市内

*学外での活動に加え、学内での事前・事後学修を適宜実施します

キーワード

持続可能な地域づくり、着地型観光、公民館活動、グリーン／エコツーリズム

活動内容 概要

人口約10万人の地方都市・飯田を「学びの場」として提供する3泊4日の学習プログラムです。環境・産業・観光・まちづくりなど、多様な分野において主体的に活動している実践者を講師とし、地方都市の実情を直接肌で感じていただきながら、他大学の学生や地域住民との学習交流を通じて、持続可能な地域のあり方を考えます。

活動の目的

- ・実践者の「生の声」を聴いて、持続可能な地域づくりについて考える
- ・地域の環境、観光、自治など、関心のある分野への理解を深める
- ・FSにおける学びを大学生活での学びへとつなげる

求める人材像

提供されるプログラムに参加するという形ですが、主体性をもつことでより学びを深められるため、「学びの宝庫」である飯田市で地域のリアルについて学びたい!という方、特に将来地方公務員を目指している方をお待ちしています

活動を通じて得られる知識・スキル・視点など

- ▶ 他大学の学生、地域住民、行政職員などさまざまな人と対話する力
- ▶ 他者ととともに学びを整理し、プレゼンテーションを行う力
- ▶ 地域について多角的に捉え、持続可能な地域づくりのあり方を描く力

FALプロジェクト概要



テーマ

産官学協働による地域課題解決

連携先

シンク・アンド・アクト

主な活動場所

未定(ただし、京都府北部地域を想定)
*学外での活動に加え、学内での事前・事後学修を適宜実施します

キーワード

産官学協働、地域振興

活動内容 概要

事前の研究とフィールドワークを両立した、地域課題の発見と具体的な解決策の提案を、連携先企業およびフィールドワーク先自治体職員と連携することで、産官学協働による立場の違いを意識した多角的な実践力・課題解決力を身に付ける。

活動の目的

- ・データドリブンな地域課題の発見および解決策を提案する。
- ・居住や労働等の関わり方の違いによる地域理解の異なる視点を理解する。
- ・産官学それぞれの立場による地域理解の異なる視点を理解する。

求める人材像

前提として、「演習」科目である以上、自発的で主体的な取り組みが必須です。その上で、地域課題の解決には、関わり方や立場の違いを考慮する必要があります。その点で、思い入れの強い人ばかりが集まってもバランスの良い意見が得られないからこそ、とにかく幅広い人材を求めます。

活動を通じて得られる知識・スキル・視点など

- ▶ 多様な住民・生活者像を理解することのできる俯瞰的な考察力
- ▶ 立場の理解を乗り越えて共通理解を得るためのプレゼンテーション力
- ▶ 現場で生じる課題に対応する臨機応変力